

水景施設 (案) S=1:1000 (A3)

【水景施設の考え方】

- 旧生田川の歴史・記憶にちなみ、フラワーロード沿いに水辺空間を再整備する。
- ひろばと一体的な利用ができるフラットな形状の水辺とする。
- 環境に配慮し、夏場の気温上昇に対する気象緩和や環境負荷低減に役立つ機能をもたせる。(クールスポット (ドライミスト)、浸透機能をもたせた植栽帯等)。
- 市民や来訪者が水辺でゆったりとくつろげるようにレストスペースと組み合わせる。
- 水景施設の配置は、「みちひろば」の空間が有効に使えるように再配置する。
- 既存の水景設備を有効活用する。
- 異常高温対策として、芝生広場で維持管理に使用するスプリンクラーの水などを有効活用する。

